

令和6年度第1回徳島県審判強化講習会報告書

1. 日時：2024年5月23日（木） 20：00～20：30
2. 場所：オンライン（Zoom）
3. 講師：山下 渉（JBA公認A級審判員／2級インストラクター）
4. 対象者：徳島県内審判員
5. 参加料：500円
6. テーマ：「TOとの連携」を高め、ゲームのスムーズな運営につなげられるようにする。
7. 当日参加人数：25名（内訳U12：53.8%，U15：7.7%，U18：11.5%，社会人：26.9%）

8. 講習会内容

（1）講習会の前に県内上級審判員，各カテゴリー審判長にアンケートを実施。

- ・「TOとの連携をとる上で心がけていること」について回答していただき，その内容を県内の審判員に共有させていただきました。

（2）徳島県の現状を共有。

- ・県内大会でTOを担当するのは，多くは子ども達であること。
- ・力量（ルールの理解など）もまちまちであること。
- ・だからといって，ミスが許される訳ではない。
- ・TOも審判も一緒にゲームを運営していく同じクルー（仲間）であることを確認した。

（3）事前アンケートの結果より，TOと協力するために審判員として心がけることを共有。

- ・アイコンタクト，コミュニケーションを大切にすること。
- ・TOへのレポートは，分かりやすく丁寧に。そして，声を使いレポートすることは必須である。
- ・スコアラーとアイコンタクト，理解したらサムアップ（OKサイン）をしてもらう。
- ・レポートされた番号が分からない場合などは，すぐにブザーを鳴らし知らせ，その場で解決して次へ。
- ・リスタート時のアイコンタクトは審判だけでなく，TOともアイコンタクトをとる。交代やタイムアウトがないかを審判員は必ず確認する。
- ・ポジションアローの確認，3or2が微妙なケースをしっかりと伝える。
- ・ショットクロックオペレーターとは事前に確認し，見えにくい状況の時や，誤ってリセットされた時の対応などを確認しておく。
- ・レアケースへの協力。同時刻入退場。

9. 参加者事後アンケートより

- ・TO との連携を大切にしないといけないことが理解できた。
- ・ファウルのレポートやプレイに集中する余り、TO とのコミュニケーションが意識できていない時が多いので気をつけたいと思った。
- ・実際、トップレフリー、上級審判員がどのように TO へ声かけをしているのか音声や言葉があれば参考になると感じた。
- ・TO と協力してグッドゲームになるようにがんばります！

10. 謝辞

今回、平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、多くの方にご参加いただきました。オンラインでの講習会ということで、短時間そして、映像等見えにくいことがあり、ご不便をおかけしました。今後の改善点とさせていただきます。事後アンケートでは肯定的な意見も多く、次回以降の講習会へのヒントもたくさんいただきました。参考とさせていただきます。次回、講習会についてはまだ未定ですが、次回以降の講習会でも多くの方に参加していただけるよう、講習内容を吟味し開催したいと思えます。今後とも宜しく願います。

報告者 山下 渉